

北米向け輸出コンテナについて

現在北米向け輸出貨物が増加しており、コンテナ船のスペースが混雑しております。2020年～2022年のコロナ需要によるスペースタイトが再度発生する可能性がありますので、振り返りと今からできる対策をご案内いたします。

2020年から2022年までに起こった出来事

- 2020 ● コロナ需要により、コンテナ船のスペース不足が急に発生。
 - PSS (PEAK SEASON SURCHARGE)が発生し、値上げが繰り返される。
 - 米国西海岸の荷役の遅延や沖待ち(ピーク時200隻)、ターミナルの滞貨が発生。
 - コンテナが北米に滞留し、アジアは空コンテナ不足。
 - 船会社は実績のある貨物を優先し、新規ブッキングは受け付けなくなる。
 - 西海岸の鉄道も混雑し、内陸輸送が一時停止。ほとんどPORT止めになる。
 - 滞留のリスクがあるため危険品/リーファー貨物引き受けが停止。
 - オーバーゲージ貨物はほとんど在来船やRORO船での船積みとなる。
- 2022 ● 西海岸\$10000以上、東海岸\$30000以上の運賃となる。

情熱羅針盤

ジャパントラストかわら版



！
今からできる
対策

- 01 / ブッキングのご連絡は早めをお願いします。(目安2か月前)
- 02 / 翌週船への変更(スライド)ができなくなる可能性が高いため、余裕を持ったスケジュールでブッキングする。
- 03 / 海上運賃が高くなってきているため、物流コストの見直しをしていただく。
- 04 / コンテナ船のスペースが取れない場合に備え、RORO船や在来船も検討いただく。

2024 新入社員 今年度ジャパントラストに加わった新入社員を紹介します！

FRESHERS

佐渡 宏明 Hiroaki Sado

皆様はじめまして 2024年4月入社いたしました、佐渡宏明と申します。出身は静岡県浜松市で、家の近所にファミリーレストランで有名な『さわやか』があり、多い時で週に3回行く時もありました。

学生時代からお腹がすぐに空いてしまい、食べるのが好きで、授業の合間にお菓子やおにぎりをよく食べていたので、友人からは時々「おにぎり」と呼ばれることもあり、今でもそのワンパクなところは健在です。体を動かすことが好きで、体操、サッカー、バスケットボールを習い事としてやり、中高ではソフトテニス部に所属していました。大学生になってからは、健康を意識してジムに通うようになり、黙々と体を動かしております。得意部位は胸筋で、厚みは感じられませんが、ピクピクと動かすことだけ是可以ので、もし2つの選択肢があり、どちらを選ぶかお悩みの際は私のピクピクルーレットで解決できるので是非お声がけください。

社会人になって1ヶ月半ほど経ちました。貿易業界の知識はまだまだ不足していることが多く、日々奮闘しています。ですが、凡事徹底を心がけ、心の奥底に眠るポジティブな精神で、1日1日を全力で乗り切り、精一杯頑張りますので、今後ともよろしくお願いたします。

